

17/12/25 名古屋市議会経済水道委員会（名古屋市民オンブズマンメモ）

渡辺局長：新たな計画

総務課長：説明資料他2種類の冊子

目的 保存・活用・整備・運用体制

計画の位置づけ 本計画で、全体整備計画を廃止

指定範囲

配置図

本質的価値

目標 確実な継承

方向性

整備の考え方

整備内容

検討経過

来年1月よりパブコメ 3月に公表

委員長：質疑を

森ともお（民進・熱田区）：活用計画との違い 木造化はその一つ

岩本整備室長：既存整備計画 整備が基本

保存活用計画は保存だったり活用だったり、整備、運用 全体の整備を示す

整備は入っている 包括される 策定後は廃止

森ともお（民進・熱田区）：これまでは整備が中心→今後活用

保存と活用はなかったわけではないが、主眼を置いたという意味でよいか

岩本整備室長：保存活用は触れていたが、バランスよくする

森ともお（民進・熱田区）：これまでの整備との違い

岩本整備室長：これまでは保存のための整備、活用のための整備

仕分けしてバランスよくするのが前回と違っている

森ともお（民進・熱田区）：4ページ 活用 運営体制

活用のところで、展示施設充実させる  
具体的にはどんな考えか

岩本整備室長：説明板がある わかりやすく絵や写真を入れて  
理解しやすく

森ともお（民進・熱田区）：抽象的  
展示はどこにやるのか

岩本整備室長：天守は木造化  
現在の博物館機能 重要文化財は西の丸展示収蔵施設に収蔵  
その他は今の展示収蔵施設 別のところを検討

森ともお（民進・熱田区）：ありがとう 他にも考えている  
ものを見せる 言語表記 その点は

加藤管理課長：外国人の客もますます増えていくと思う  
日本語英語、韓国語、繁体字、簡体字 最低4言語  
そのほかの言語も検討

森ともお（民進・熱田区）：名古屋城の歴史や価値 名古屋城を作る職人の技  
納められている刀や鎧 修復 視点  
とても目の前でやられる 職人の技  
京都は伝統の価値が残る 名古屋の職人の技 引き継いでいく 目の前で見せる  
やっていくといいのではないか

岩本整備室長：常設は考えていないが、企画・イベントは考えられる

森ともお（民進・熱田区）：常設にすべきか否か 来られる方が何を求めているかで決める  
べき  
それを踏まえて常設はらないということか  
来場者の意向調査 今後訪れる方のお気持ちか

西野所長：職人の伝統の技を見て頂く  
本丸御殿の建築の様子を見てもらった  
天守閣 素屋根をつけて見てもらいたい

タイミングでは生の様子を見てもらう  
どうやって見てもらうか考えていく  
常設にするかどうかは検討していない

森ともお（民進・熱田区）：こういうことがあったら来場者が増えるのに  
旅行会社とのやりとり、情報共有 意見  
金シャチ横町、周辺の関連資産  
名古屋城には大勢の観光客がいらっしゃる  
大分増えている  
今後 360 万人 何十年 多いときには 400 万人超え  
名古屋城の次にどこに行ってもらおうか 視点は必要  
観光の色をつけすぎるとあれだが、ここにいけば名古屋のよいところがわかる  
連携を図る どのようにやるのか

岩本整備室長：現時点では決まっていない  
堀川、四間道、文化の道

森ともお（民進・熱田区）：今も視点が無いともったいない  
具体的にどう連携を図るか 回遊性の向上を図る  
とても大きな話し 熱田神宮に行く人も多い  
情報を流すとか、金シャチ横町 お客様に提供する 入っている  
事業者の決定があったと理解

魅力向上室長：発信戦略 ディスティネーション作り  
名古屋が目的となる  
一つの柱が名古屋城を核とした2つの軸  
堀川中川 熱田神宮、金城ふ頭  
大須、熱田神宮、有松、桶狭間  
どのように結びつけていくか 移動の提案も含めた情報提供

森ともお（民進・熱田区）：金シャチ横町 春に開かれる  
観光案内所 名古屋市の中で機能が回るのか  
名古屋城来たから満足  
他の名古屋城の魅力をしっかりと提供  
これ以上の答えはなければ

中野調整主幹：金シャチ横町 インフォメーションスペース  
観光地、企画イベント 幅広く情報発信

森ともお（民進・熱田区）：情報スペース 他の観光地に人が流れる  
その結果、毎年やられている調査の結果が別の名古屋の魅力  
来る前に旅行社とのやり取りで うまいサイクル 要望

手塚将之（減税・千種区）：範囲の確認  
未告示区域

岩本整備室長：二之丸中心 文化 答申があった  
愛知県体育館がふさわしくない 未告示になっている  
解決したら告示に向けて動いていく

手塚将之（減税・千種区）：奥村議員 6月議会で話があった  
進捗は

岩本整備室長：愛知県から観光文化交流局には情報は来ませんが、  
8月にチームができ、9月に予算が通った  
今後県から打診があると思う  
観光文化交流局としては新しい情報は受けていない

手塚将之（減税・千種区）：未告示区域を含めて指定  
厚い冊子 123 ページ 中段 二之丸 愛知県  
一部民有地 様々な所有区分  
共通認識を醸成する  
今後話し合いをすることか

岩本整備室長：管理区分はいろんな団体がある  
共通認識を持っていく  
調整会議等やっていきたい

手塚将之（減税・千種区）：大目標は未告示区域も含めると言うことか

岩本整備室長：管理が違ってくる 共通の意識を持っていきたい

手塚将之（減税・千種区）：125 ページ 有料区域の範囲指定の見直し  
区分の見直し 有料区域が増えると言うことか

岩本整備室長：二之丸部分 愛知県体育館が移転した場合、有料区域にしたい

手塚将之（減税・千種区）：121 ページ 体育館 候補地 名城北側  
これらが遺構 可能性がある  
調査をしていくと言うことか

岩本整備室長：そこまでうたいこんでいるものではない

手塚将之（減税・千種区）：いずれは調査をする、しない？

岩本整備室長：まずは資料調査等を進めていく形

手塚将之（減税・千種区）：指定区域 範囲を広げる  
北は資料審査  
資料の 8 ページ 天守閣の整備 本丸御殿の整備  
1 期 10 年スパン  
来年連休後から閉鎖  
旅行観光業、宿泊業 半年後というのはビジネスの射程圏内  
本丸御殿が見れないのはピンチ チャンス  
どういった見せ方があるか  
通常解体 足場、養生  
ホテル宿泊業、旅行観光業 どういった周知か

管理課長：主な旅行会社とクーポン契約  
まもなくこちらからご案内を差し上げる  
天守閣は入場禁止、閉鎖  
天守閣以外の本丸御殿などはお入りいただくと正しく伝えていきたい

手塚将之（減税・千種区）：本丸御殿をどうするかというよりも、  
本丸御殿が見れない、失礼いたしました、天守閣が見れないということで、  
デメリットをどうメリットに変えるか  
2022 年末 全て囲ってしまうかたちか

館主幹：2018/5/7 から入場禁止

着工した後、素屋根というかたちで見学施設

復元 32年夏から34年12月まで

手塚将之（減税・千種区）：入場料は天守閣 変えません

どのように考えているか

館主幹：特別の料金を取ることは考えていない

手塚将之（減税・千種区）：いったん切ります

藤井ひろき（共産・中村区）：資料4ページ 調査研究体制を強化し

十分とは言えない 石垣部会でも名古屋市が中心となって

1期までにどういった体制

2期は 3期は

村木主幹：当面1期の充実

その中で現在不十分である文献調査などを構築

その上で2期3期はより充実

藤井ひろき（共産・中村区）：文献調査を1期で入れる

2期で別の分野、ということか

村木主幹：まずはできていない学芸員、外部委員 充実を図る

藤井ひろき（共産・中村区）：出来ていない分野は他にあるか

村木主幹：今の時点は文献調査

建造物、その他現存遺構 調査が及んでいない部分

藤井ひろき（共産・中村区）：建造物なども1期で充実させるのか

村木主幹：名古屋城に集めるのはなかなか難しい

外部の研究者の力も借りて

藤井ひろき（共産・中村区）：熊本城、金沢城 どう目指すのか

名古屋市としてどのようにするのか

岩本整備室長：研究体制の充実

1期のうちになんとか充実させたい

藤井ひろき（共産・中村区）：1期うちに熊本、金沢のような体制にするのか

岩本整備室長：そのとおり

藤井ひろき（共産・中村区）：いったんここで

江上博之（共産・中川区）：いったい何の調査をするのか

具体的には

村木主幹：当面 石垣、堀 遺構について

文献について

どの程度の人数が必要かは分析できていない

江上博之（共産・中川区）：できていないということはどういうことか

保存、活用 どうしていくか

石垣はこれだけ必要、文献はこの程度

名古屋城博物館との兼ね合い どうか

岩本整備室長：熊本城、金沢城 見本にする形で

1期で構築したい 目指して 細かな調整はしている

なるべき早く

江上博之（共産・中川区）：保存管理計画 今までと一緒の答弁だとだめ

熊本城は16名 金沢城は21名

名古屋城は容積は日本一

イメージがないといけない

岩本整備室長：熊本城の体制を目指してやりたい

名古屋城所長：保存管理計画 案を示した

その中で調査研究強化も書いた

文献、遺構 調査を充実させていかないと行けない  
どの人数 検討中 イメージとしては金沢や熊本を参考にしたい  
熊本を参考にしたい

江上博之（共産・中川区）：そもそも全体整備計画→活用保存計画  
整備方針が木造だと私は理解している  
現在、天守はどういう整備方針か

岩本整備室長：耐震

江上博之（共産・中川区）：活用保存計画 計画とは何か  
基本設計を出した  
「耐震化」とあるのに、計画と違うことをやっている

岩本整備室長：今後の予定

江上博之（共産・中川区）：当たり前 計画を無視して基本計画とか  
木造復元をやっている

西野所長：ご指摘のとおり 全体整備検討会議を定めた時点では耐震改修  
その後の検討の中で木造復元を合わせて検討 方針を変えていった  
保存活用計画 天守の動きとは別 平成 27 年度より検討  
変わる場合に保存活用計画 整合性をとるように  
今回計画を決めていたが、方針と合致するように

江上博之（共産・中川区）：名古屋市としての計画は耐震化  
木造復元の基本計画を予算議決した  
計画を無視した  
計画を変えてから予算を提案するのが筋ではないか

西野所長：基本的には計画に沿って進める  
全体整備計画とは異なる形で予算を出した  
その時点で全体整備計画を変える  
保存管理計画検討スケジュールに合わせて

江上博之（共産・中川区）：本来は全体整備計画

保存活用計画が出来た後、予算を出すのが当然ではないか

西野所長：2022年12月復元時期 工程を示した上で検討  
計画を変更することと、時期的にリンクしなかったが、個別の検討してきた  
ご了承をいただきたい

江上博之（共産・中川区）：了承しない  
反省しないと行けない  
そもそもそういうこと 反省 「いろいろあって申し訳ございませんでした。」  
計画

西野所長：計画については我々の方針  
基づいて進めていくべき  
天守閣について個別の検討 木造復元になった  
整合性は申し訳ない部分があった

江上博之（共産・中川区）：保存管理計画 議論しても、「個別の案件 変更します」  
実績を作られた  
これから議論しないと行けない  
また変わった

西野所長：計画 将来を見据えて  
状況 わからない部分もある  
計画 定めたら進めたい

江上博之（共産・中川区）：実績があるから信じない  
文化庁に申請するからではないか  
計画は実質 予算もある  
文化庁に申請するからではないか

西野所長：保存活用計画 9ページ 平成27年度から進めてきた  
元々この2年間で計画づくりを行ってきた  
天守云々ではなく  
天守との兼ね合い 文化庁 木造化報告  
保存活用計画については進めてきた

江上博之（共産・中川区）：来年度予算 基本設計、予算設計 一つの筋  
もう皆さんはとっくに方針の提案をしている  
文化庁の申請以外ない  
方針変えておきながら、計画は計画で進めないと

西野所長：計画については、名古屋城全体の保存活用計画  
天守と言うことだけなら委員ご指摘のこともある  
当初の予定通り

江上博之（共産・中川区）：肝は木造復元 一部とはとても思えない  
天守の整備方針を変えること  
いまごろ変えるのはおかしい 反対  
いろいろ整理がされた  
議会 再建 耐震化 木造違い  
本来、議会に予算を計上する前に議論の材料と出すべきではないか  
「そういうことを踏まえて議論して」  
そう思わないか  
さみしいわ はっきりいうと 前に市民、議会に出さないか  
おととしくらいのタウンミーティングで出すべきだ

西野所長：ご指摘のとおり 木造復元として検討  
耐震改修との比較 詳細にして 資料を文化庁に出した  
耐震改修か、木造復元か タウンミーティングでしめそうとした  
特別史跡の価値を意識した上で、より詳細に整理した  
そこまでに至っていなかった  
比較する観点ではやってきた

江上博之（共産・中川区）：文書的に耐震化の利点 課題  
情報としてはいろいろあった  
これだけ

岩本室長：195 ページ以降木造天守の意義 文書化  
これまでまとめたのははじめて

江上博之（共産・中川区）：どうやって市民のお知らせするのか

館主幹：保存活用計画 今後パブコメでご意見出す  
天守閣木造復元 195 ページ以降ご説明  
意義、耐震比較、  
来年1月 区役所 5箇所でご説明していきたい  
2月広報なごや 市民に示した上で

江上博之（共産・中川区）：本来なら、議会の議決する前に市民に説明  
議会軽視、市民軽視  
耐震化 耐震不足で1997 H9 からわかっていた  
それ以降なぜやらなかった 記述がないが

渡辺主幹：195 ページ 耐震現状  
ここでお話し  
どのような課題 記載

江上博之（共産・中川区）：問題があったが、何もしなかったことは触れないのか

渡辺主幹：どんな方針で整備するか  
現状として書くか 表現

江上博之（共産・中川区）：97年から全体整備計画 耐震化にしないといけない  
河村市長になってから今の全体整備計画  
何もやってこなかった 記録にしないのか  
どうしてやらなかったのか

西野所長：耐震性の数値が出てから、いろいろな優先順位 遅れていた  
その後どうするかの調査をやってきた  
名古屋城の耐震についての現天守の取り組み 記述はどういう形で発していくか  
工夫は検討していきたい

江上博之（共産・中川区）：当然やっていくことが必要  
「40年が寿命」現天守閣の課題 一切でてこないがどうか

渡辺主幹：ここの表現は中性化 鉄筋の状況はどうか

江上博之（共産・中川区）：あれだけ「40年で問題」アンケートに書いた

ここでは利点と課題 40年しか持たない 書いてあってもよいが  
なぜ書いていないか

渡辺主幹：記述の中で、40年とは記載していない

鉄筋コンクリートが持っている課題 客観視出来る書き方

江上博之（共産・中川区）：木造も一緒

姫路城 400年 何回改修しているのか 40年ごとなら10回

建物はそう

維持管理していくことで寿命を延ばす

きちんとやる

今回文書に書かなかったのは恥ずかしいからではないか

渡辺主幹：コンクリートの中性化、鉄筋

概ね40年と認識している

記載としては中性 恒久的な対策 難しいという表現

江上博之（共産・中川区）：40年後、また補強すればまた40年、100年持つのは明らかで  
はないか

渡辺主幹：どれだけ持つかはわからないと考える

江上博之（共産・中川区）：わからないということを早く言ってもらわないと

渡辺主幹：今の現状では40年しか持たない

中性化しても、どれだけ持つかわからない

江上博之（共産・中川区）：やってみないとわからないのは事実

大阪城は50年、100年は持つと言ってきた

わからなければ書かなければよい

博物館機能がなくなる

別の展示施設を作る こんな風でよいのか

岩本整備室長：重要文化財 今年度から西の丸で建設している展示施設で展示する予定

それ以外は別の施設 そこで展示

江上博之（共産・中川区）：今作ろうとしている西の丸展示施設は小天守分  
大天守のものは

岩本整備室長：障壁画などは展示施設で展示  
その他は今後検討

江上博之（共産・中川区）：整備方針 木造化  
あとのことがはっきりしない  
収蔵施設 小天守分は予算済  
大天守分は今の大天守でやるのがよい

中川貴元（自民・東区）：二之丸 県の体育館  
最近はいつ検討されたか

整備室長：県のスポーツ課と年末 パブリックコメント来年  
11月にご説明をした

中川貴元（自民・東区）：11月のいつか

整備室長：11月中旬くらい

中川貴元（自民・東区）：書きぶりということはこれのことか  
誰が行ったのか、誰とあったのか、どのページか

岩本整備室長：県の教育委員会スポーツ課の課長補佐と私  
今後の整備の部分を説明  
整備 207.206 123 説明した 全体 222 ページ

中川貴元（自民・東区）：207 ページ 中段 二の丸御殿跡  
愛知県体育館の移転を見据え  
県も了解済みか

岩本整備室長：説明した 反対の意見はなかった

中川貴元（自民・東区）：具体的に県は今のところどういうタイムスケジュールか

岩本整備室長：観光文化交流局には直接情報は入っていない

8月に県は検討チーム 9月 検討費用計上

取りかかっていると思う

具体的な案が示されたら緑政土木 チーム にくると思う

中川貴元（自民・東区）：誠に恐縮 そんな程度の情報提供

1対1 愛知県体育館の移転を見据え 課長補佐レベルでいいと言われた

県のスケジュール どういうスケジュールで動くのか

今のご答弁では心許ない

西野所長：愛知県体育館の移転について、情報を持つべき

いままで緑政土木部の窓口が直接県との話し合い

そこから情報をもたらってきた

保存管理計画を作るに当たって、説明した

調査チーム 来年度には新しい動きがあるのでは

情報収集不足 今後とも愛知県体育館移転後の考え方を説明したい

中川貴元（自民・東区）：体育館 移転先の候補地 どころ認識

いつまでに結論がでるのか

西野所長：名城公園北園 スケジュールは持っていない

中川貴元（自民・東区）：活用報告案

展示場のようにしてもらってはいけない

情報交換は密にしないといけない

総務局、緑政土木局 そちらの方で窓口

県との対応をしていくべきではないか

保存活用計画 書きようがない

二の丸庭園 活用の仕方 まとめようとしても相手がいいと言っただけか

有識者 ご相談 果たして使えるのか

ぜひそちらの局の方で窓口を作るべきではないか

渡辺局長：確かに整備をする主体 当局

主体的に関わらないと行けないという認識に至った

我々が絵ばかりでもいけない

保存活用計画 当局としては整備して本物の往時の名古屋城にしたい

実効性のあるものにしたい

中川貴元（自民・東区）：なにを言っているかわからない

知事に持って行った？どの辺までもっていった？

展示場のことなどいろんなことがある

作った張本人　こういうときにきちんとした対応をして、いろんな意味で関係をよくしていく

知事に直接お目にかかれるかどうか、局長以下ご説明を

観光局単体か、他の局もか、これを委員会終わったら県に持って行って、

ご説明、理解を求めては

渡辺局長：そのようにしたい

中川貴元（自民・東区）：石垣部会　「前回の委員会で、今日の委員会までに

石垣部会の問題が解決していればいいですね」と発言

現時点で気持ちはどう変わったか

西野所長：協議を進めた

一度話し合いを　先週の月曜日　市役所の中で3名と私以下名古屋城職員で話した

石垣先生は、名古屋市の考え方は理解　評価した

「1名欠席　結論は出ないが、速やかに結論を出したい」

現時点では調整されていると認識

今日「解決した」とは言えないが、前には進んでいる

中川貴元（自民・東区）：3名の方については、これまで同様

名古屋市に協力するとおっしゃったのか

西野所長：最終結論はその日出せない

3名　みんなGOはおっしゃっていない

私としては、前向きに受け止めたと感じている

中川貴元（自民・東区）：せかすわけではないが、いつまでにめどが立ちそうか

西野所長：なんとか今年中に

会議の場でも言った

年明けになっても、日をおかずに

石垣の調査を再開したい

中川貴元（自民・東区）：その結果によっては、計画案の書きぶりも変わるのか

西野所長：保存活用計画は今後の大きなもの  
時期が変わるだけで内容が変わるわけではない

中川貴元（自民・東区）：石垣部会のみならず、部会、検討会議 設置経緯  
石垣部会 それそのものには書いていない  
石垣部会 変動することになれば、書きぶりも変わるのではないか  
そこは大丈夫か

西野所長：名古屋城跡全体整備検討会議で検討、作成  
石垣部会は下部機関 基本的には書きぶりには変更はない

中川貴元（自民・東区）：エレベーターについて質問  
今度の5月7日 入場禁止 現在のところ変更ないか

西野所長：変更ないと思う

中川貴元（自民・東区）：エレベーターはいつまでに結論か

西野所長：基本設計の中でエレベーターつけるつけないをきめないといけない  
今年度中に結論

中川貴元（自民・東区）：プロセスを具体的に

西野所長：障害者、高齢者などヒアリング中  
健康局、こども局 プロジェクトチーム  
お声をお聞きしながら情報交換で方向性を見いだしていきたい

委員長 佐藤あつし（減税・中区）：あとでエレベーターについては説明したい  
このあと

中川貴元（自民・東区）：では後ほど  
わかった

リニューアルしてオープンするまでの活用仕方  
お堀 天守閣見れない それもあとかね

委員長 佐藤あつし（減税・中区）：他にあれば  
こちらの資料については後ほど

西川ひさし（自民・昭和区）：天守閣 目指すものはなにか  
国宝か

西野所長：保存活用計画 天守閣整備を触れている  
実際の江戸時代の史跡の価値が伝わるような整備を目指したい

西川ひさし（自民・昭和区）：江戸時代の実際のもの  
12月 考え方 いつ作ったの？今  
前回の委員会の後 議論を盛り込んでいないように感じる

江上博之（共産・中川区）：東北隅櫓、多聞櫓 整備方針か

整備室長：往時の姿に戻したい 順次  
東北隅櫓は資料が残っている

江上博之（共産・中川区）：再建していく 伝統技術継承は可能ではないか  
わざわざ天守木造復元はしなくてもよい  
財政計画は触れないものか

整備室長：方針  
現時点で資料がない 大きさがわからない、意匠わからない  
調査してはじめてわかる  
当面全体 調査して部分か段階か  
なかなか本来整備のお金があるとわかりやすいが

江上博之（共産・中川区）：保存活用計画 全国的に財政計画はないのか

岩本整備室長：細かな財政計画 書いてある者はないと認識している

江上博之（共産・中川区）：こういうことをやりたい、財政計画を決めないと

計画の位置づけ 問題と感じている

委員長 佐藤あつし（減税・中区）：他にないか

休憩 15分程度 3時15分から

-----

17/12/25 名古屋市議会経済水道委員会 後半

委員長 佐藤あつし（減税・中区）：基本計画案

渡辺局長：進捗状況の説明

総務課長：説明

復元資料も

基本計画の趣旨 基本的考え方

現状変更許可申請 必要

構成

基本計画策定スケジュール 12月中に基本計画

3月に天守台以外

7月に基本計画全体

名古屋城天守閣事業 復元整備

特別史跡名古屋城跡 保存活用計画

名古屋城 歴史的変成

現天守閣の評価 4項目に分けて書いた

天守復元の意義 耐震改修、木造復元課題

木造復元 特別史跡内本質的価値の理解を促進

課題は克服可能

復元時代の設定 天守台石垣 宝暦時代に大きく積み替えられた

昭和実測時 豊富

時代は宝暦大修理以後焼失前

心のよりどころになるように5つの方向性

7ページ バリアフリーに関する考え方

真実性 乖離 年齢

対策 ハード、ソフト 来場者

バリアフリー意見聴取状況 意見聴取中

今後の検討 庁内プロジェクトチーム 発足予定

スケジュール案

速やかに検討会 来年 3 月に方針決定

よろしくご審議を

委員長 佐藤あつし（減税・中区）：質疑は

福田誠治（公明・南区）：史実に基づいて

昭和 34 年 後付けでエレベーターを設置した

年数と理由

加藤管理課長： 昭和 34 年 復元

内部にエレベーター設置

地上からエレベーター 段差があった

不便を解消するために外付けエレベーター

福田誠治（公明・南区）：段差はいくつありますか

加藤管理課長：小天守に入らないといけない 階段を使い小天守

小天守に入る 橋台を渡る

福田誠治（公明・南区）：工程の低いところ 高いところ

何段 最高何メートル

段差の個数 わからない

本丸御殿の地盤 地下 1 階まで 8 メーター強ある

福田誠治（公明・南区）：小天守までたくさんの段差、

ほかにも段差

大天守の最上階までざっと何段あるのか

福田誠治（公明・南区）：どんな考えでバリアフリー どのように考えているのか

そぐわない人は城には入れないか

中野事業調整主幹：排除するつもりはない

様々な人が登ってもらえるように

福田誠治（公明・南区）：例えばどんな考えがあるか

中野事業調整主幹：11/16 天守閣部会 チェアリフト設置 上がっていただく

福田誠治（公明・南区）：階段の幅いくつで、チェアリフトつけたらどの程度の余幅

中野事業調整主幹：階段 およそ 1.2m-1.5m

チェアリフト 75cm 認識

福田誠治（公明・南区）：安全 例えば手すり バリケードみたいなもの

もともともっと狭くなるのではないか

中野事業調整主幹：かなり狭くなると想定

チェアリフト使用時 中央に手すりを設置しようとする

福田誠治（公明・南区）：チェアリフトをつければ、バリアフリーが出来ると考えるかもしれないが、

最上階まで何分かかかるか

中野事業調整主幹：1分当たり 5.5m ざっと計算して地階から 5層まで 20-30分かかる

福田誠治（公明・南区）：載せたり下ろすのに時間がかかる

さらに時間がかかるでよいか

中野事業調整主幹：そのとおり

福田誠治（公明・南区）：1時間に2人ということか

中野事業調整主幹：1フロアごとに乗り換える

片道 2-3分 1人の方で5分間隔であがったり降りたり

福田誠治（公明・南区）：乗換 ロスがある

1人何分

中野事業調整主幹：1人当たり 20-30分

福田誠治（公明・南区）：横浜交通博物館 昇降機をみてきた  
1 基しかない あとからスロープをつけた  
チェアリフトがよいのか

中野事業調整主幹：わずかしこ登れないので最大限検討

福田誠治（公明・南区）：愚策  
掛川城 階段 約 60 度 三角定規を使った  
掛川は 58 度 大体 60 度前後の城 大変  
一番上に落とせば将棋倒しで  
子どもがふざける 高齢者  
本当に登れるけどこわいな 考えないと行けない  
階段 降りる女性 きゃーこわい  
お尻をつけながら降りた  
階段の利用価値がないくらい言ってよい  
天守閣と言うこと 最上階に載せたい エレベーター設置は必ず必要  
どう思うか

西野所長：私ども木造復元 基本的には戦争で燃えた天守をいわゆる復元  
史実に忠実が基本  
バリアフリー チェアリフト いろいろご意見を頂いている  
広くお聞きしながらどういうふうがよいのか  
バリアフリーの問題をいかに解決するか

福田誠治（公明・南区）：市長が背負子というが、降りるときは使えない  
現場を見て欲しい  
歴史は流れている 歴史の 1 ページ  
今バリアフリー法 違うものができて当たり前  
飛行機 船 タラップ はじめからつけて、取ったときは史実に忠実に  
どうしたらやりたいことができるか考えられる  
木でごまかす ゴンドラみたいにロープを張って  
いろんな方法を考えて 史実に忠実に  
どうか

中野主幹：委員からの提案 ボーディングブリッジ 空港、港  
直接乗客が載れる可動式のもの

飛行機に入れる

多少の傾斜はあるが、今後検討

福田誠治（公明・南区）：ほとんどつけっぱなしになる

いざ撮影 取り外しが可能

どちらが利点があるのか

史実に忠実に出来るのか

木造化には賛成

もっともっと真剣に考えて欲しい

手塚将之（減税・千種区）：チーム 発足したのか

中野主幹：局長級はまだ

手塚将之（減税・千種区）：残り 3 日以内か

中野主幹：努力中

手塚将之（減税・千種区）：3 日間考慮の時間

せつかく案 基本的には史実に忠実に

高齢化、障害者 考えないと行けない

副市長を

新しい副市長か、堀場副市長か

中野主幹：市長の明確な指示 堀場副市長

手塚将之（減税・千種区）：3 日という数字

堀場副市長を長としたチーム

ずれると聞く側が体制が整っていないとだめ

藤井ひろき（共産・中村区）：11/14 バリアフリー検討

チェアリフト、階段昇降機

障害者団体 当局に要望した

どういう声が出されているのか

中野主幹：11/16 天守閣部会以降、愛知障害フォーラムから

「エレベーター設置しないのは認めない」と申し入れ

藤井ひろき（共産・中村区）：私は耐震改修

わずかな人しか登れない

審議した保存活用計画 201 ページ バリアフリーに書いてある

昇降円滑 ハード、ソフト 「課題を乗り越えることは可能」根拠は

中野主幹：エレベーター以外

チェアリフトを含めて可能な技術

階段昇降機 現実的にある

取り入れること 昇降が可能と考えている

藤井ひろき（共産・中村区）：登ることは出来るかもしれないがわずか

断言するのはおかしい

「課題を乗り越えることは検討」率直に思うが

中野主幹：様々な角度から調査検討をしたい

学識者、高齢者、障害者から意見を聞いて

藤井ひろき（共産・中村区）：去年姫路城に行った

階段こわかった

10代の障害者 泣き出して途中でやめた

わざわざエレベーターある城をぶっ壊して、急な階段をつけるのはどうか

バリアフリーでない城を作るのはどうか

浅井正仁（自民・中川区）：はじめに新聞報道で知った

11/16 天守閣部会にお邪魔した

エレベーターの話し ある先生 「この話しは済んでいる。今回はなしをするのはおかしい」

チェアリフト いつ天守閣部会に誰が投げたのか

いつの時点なのか教えて

中野主幹：チェアリフト 学識者からの意見ではない

名古屋市からの提案

11月16日天守閣部会

事前に個別に構成員に説明した

名古屋城総合事務所が説明した

浅井正仁（自民・中川区）：天守閣部会はチェアリフトを検討しろと言ったのか  
エレベーターの議論はなしでよいか

西野所長：天守閣部会事前説明 エレベーターつけるつけない課題がある  
名古屋市としては代替としてチェアリフト、階段昇降機  
技術がよりよくなれば導入する 考えていると説明  
「エレベーターをなしになってます」とは言っていない

浅井正仁（自民・中川区）：やっぱり、エレベーターなしという方向性で考えた  
障害者の方がお見えになって、その事前に障害者団体、高齢者  
いろんなところから意見を頂いたのか

西野所長：木造復元を行っていく  
天守閣部会に示した  
エレベーターはなし こういう風に示した  
史跡の中での復元 一つの案を決めてから 高齢者団体らにお聞きしたい  
聞いていなかった

浅井正仁（自民・中川区）：その後話し合いはしたのか

西野所長：団体に出向いて意見を聞いている

浅井正仁（自民・中川区）：何団体くらいか

中野主幹：高齢者：4団体 障害者2団体 福祉学識者2名

浅井正仁（自民・中川区）：ヒアリングの結果は頂いたか

中野主幹：障害者団体 エレベーターすべきがほとんど  
高齢者団体 意見が分かれた 設置しろ、孫に誇れるもの 設置すべきでない  
福祉学識者 障害者団体や高齢者団体 意見を聞くべきだ

浅井正仁（自民・中川区）：高齢者団体 賛否両論  
何対何

中野主幹：一つの団体 賛否は8割は設置すべきではないという意見を頂いた

浅井正仁（自民・中川区）：先ほど福田委員 1時間2人しか登らない  
天守閣がある 5階 1階から3階 2つ  
3階～5階 1つ

中野主幹：その通り

浅井正仁（自民・中川区）：昇降機 一般の人は登れるのか  
併用できるのか

中野主幹：基本的に中央に手すり 安全上区分  
片側チェアリフト使っているときは一般人は可能

浅井正仁（自民・中川区）：階段 姫路城 後付けで下りつけた  
登りと下りは別  
名古屋城 2つある階段はどんな区分か

中野主幹：検討段階 地階・3階  
御成階段は上り  
後1つは下り  
3-5階は相互

浅井正仁（自民・中川区）：チェアリフトは3-5階もつけるのか

中野主幹：そう

浅井正仁（自民・中川区）：さらに混むのか

中野主幹：混み合うことは想定する

浅井正仁（自民・中川区）：入場料で作ると聞いているがそうか

館主幹：基本的には入場料でまかなう

浅井正仁（自民・中川区）：400万人入れようとする、最高1日何人はいるのか

館主幹：正確には今後の設計

姫路城、過去の実績概ね25000人

浅井正仁（自民・中川区）：時間にして何人

館主幹：9時-5時 実質8時間

3000-3500人

浅井正仁（自民・中川区）：検討がわからない 3000人を入れたとき

すきすきなのか混雑なのか 不快指数は

館主幹：姫路城 瞬間800人入った それ以上は入場制限

名古屋城は2倍 1500人くらい

浅井正仁（自民・中川区）：そこで障害者が観光バス1台入ったらどうなるのか

1日当たりどれくらい入れるのか

館主幹：全体としてバリアフリー 障害者、高齢者 検討中

チェアリフト 基本的には階段につき1つ

団体客が来たら対応出来ない

合理的配慮

どういったバリアフリー対策として適切なのか年度内に示したい

浅井正仁（自民・中川区）：年度内に決める

障害手帳を持っていない 足の悪いお年寄りがチェアリフト使いたい ダメか

中野主幹：障害者だけでなく、高齢者など制限を設けないつもり

浅井正仁（自民・中川区）：それで400万人！

スキーみたいに連なっているのか

中野主幹：1つの階段に1つのチェアリフト

浅井正仁（自民・中川区）：果たして1500人 足の悪い人もOK

調子悪い人も OK 人数まかなえるのか  
時間が読めない観光地はパス 外からみて終わり  
パリのエッフェル塔は団体では行けない  
観光とは時間時間で追われる いいのか？  
さっき 3月に決める  
このチェアリフト 観光文化交流局だけで決めたのか

西野所長：元々の技術提案を求めてやった  
バリアフリーとして、考えられること 途中までエレベーター 最上階にチェアリフト  
観光文化交流局として一つの案としてチェアリフトを出した  
これからどうするかは広くお聞きしながら検討したい

浅井正仁（自民・中川区）：庁内プロジェクトチーム  
チェアリフト、エレベーター、何もなし  
河村市長 なんとやっているのか

西野所長：もちろん史実に忠実に復元を指示  
バリアフリーは意見を聞いて

服部将也（民進・北区）：もともと大阪城ににらみをきかす  
平時 バリアフリーの対極 人を寄せ付けない  
現代の建物 誰もが登閣できるように  
やるといったからにはやってもらわないと行けない  
この間、これまで高齢者、障害者施策 健康福祉局の担当者と意見交換したのか

中野主幹：障害企画課と議論した

服部将也（民進・北区）：チェアリフトについては理解しているのか

中野主幹：11/16 チェアリフト以降に、健康福祉局と議論を始めた

服部将也（民進・北区）：なんとやっているのか

中野主幹：障害者団体から意見を聞いて判断すべき

服部将也（民進・北区）：主体的な意見はないのか

中野主幹：現時点ではない

服部将也（民進・北区）：結局観光文化交流局主導のものになってしまうのではないかと  
先ほど8割 エレベーターをつけるべきでない  
どういう対象 どういう時点 調査として

中野主幹：高齢者団体 ヒアリング 2団体した  
1団体 賛否両論 自分たちも高齢化  
最終的に会長 総意を問う 8割設置すべきでない

服部将也（民進・北区）：天守閣 中央部分、別棟方式  
そのあたりを詳細に説明した上でか

中野主幹：11/16 天守閣部会資料を配付して

服部将也（民進・北区）：エレベーターに特化して伺っている

中野主幹：その通り

服部将也（民進・北区）：答弁がわかりません。  
すべて詳細に説明した結果、総合的に判断したのか 言い切れるのか

中野主幹：天守閣 木造天守の中 設置するしないで

服部将也（民進・北区）：前提を話をしないと、印象を受ける  
きわめて不適切 どう考えているのか  
私はそんな者ではない

西野所長：ヒアリング 状況 明確に数を取ってではない  
少し不適切 お詫びいたします

服部将也（民進・北区）：委員会答弁なので気をつけて  
8割 一人歩きしたらどうするのか  
名古屋市の考えとも反する  
バリアフリーに反する考え方

前提条件がある 「中央ならいかん」ならわかる  
委員会に臨んでいただきたい  
やるといったからにはやってほしい  
「登れますよ」ではいかん  
恐怖感が伴うことではいかん  
私も研究したい

西川ひさし（自民・昭和区）：答弁の中で「最大が 1500 人」天守閣に昇ろうとする人  
1 日で 3000 人  
年間 400 万人の入場

館主幹：昨年度収支計画

年間 360 万人人間が来る  
最大天守閣に登れるのか 25000 人  
姫路城 大規模改修 280 万人から算出  
姫路城 最大瞬間 800 人で入城制限する  
名古屋城は延べ床面積が大体 1500 人は入れる  
時間当たり 1 日 25000 人 1 時間あたり 3000 人  
中に入れるのはだいたい 1500 人くらい

西川ひさし（自民・昭和区）：25000 人 これるとき 最大 高い理想

館主幹：平日が 6000-8000 人

土日 20000-30000 人入って欲しい  
結果 360 万人くらい

担当課長：昨年最大 35000 人入った

西川ひさし（自民・昭和区）：全体で 35000 人 大体 8 割 5 部が天守閣に登る  
今の天守閣で最大 特別な数字

課長：桜の時期 大変多くの人

西川ひさし（自民・昭和区）：特別な例

館主幹：28 年度実績

名古屋城 昨年度 192 万人  
土日祝日平均 9000 人弱  
平均 4000 人弱

西川ひさし（自民・昭和区）：よく努力されている  
天守閣 8 割 入城制限はあったか

課長：その日職場にいたが、入城制限はしていない

西川ひさし（自民・昭和区）：なんとかいったギリギリの線

目指すものは何か

本会議場で国宝を目指す

12/6 資料 何をを目指すのかわからなくなった

文字に起こした 世界に誇れる 史実に忠実に

今の名古屋城

今目指しているのは、史実に忠実な者 戦場における

55 度-60 度

基本的には全ての方に登っていただかないといけないもの

工夫しないといけないのか

何が大事でどう目指していくのか

このプロジェクトの責任者はなにか

市長ではないか

「よう考えてちょうよ」責任ある発言とは思えない

展望台のように

どこを目指して、誰が責任者か

西野所長：前回の委員会でも天守閣の整備の考え方

史実に忠実な木造復元

本日の資料でも利点 本質的価値の理解 掲げた

いわゆる名古屋城が城郭 防衛機能 堀や石垣とともに機能

しっかりと理解していただく

史実に忠実な木造復元 示している

バリアフリーとの対応をどう考えていくか 市長自身がチームを作れ

しっかり検討せよと指示

我々としては指示に基づいて検討

西川ひさし（自民・昭和区）：本当に史実に忠実な木造復元

健全者でも危険 何千人も登れない

どうやって工夫するのか

市長が「チームで検討せよ」無責任

方向性を打ち出した上で他局と連携して

服部委員からの健康福祉局 じっくりこない

皆さんも困っている 大きなプロジェクト 筋はどこに？

現実としてどうなのか

今後責任を持ってやっていけるのか

これは非常に難しい

ちゃんと出来るのか

なんか資料を見てもちがう

チェアリフト 上がりたいのなら上がらせてあげないといけない

途中でこわいから引き返す

理想なことできるのか

西野所長：非常に天守の整備については解決しないといけない課題がたくさんある

人数は参考にしながら対策 今後達成していけるのか

市長と相談して最終的に市長のご判断

しっかり検討していきたい

西川ひさし（自民・昭和区）：もしバリアフリーしっかりするのなら、

全員登れるように

福田誠治（公明・南区）：名古屋城は冷暖房完備か

管理課長：木造

福田誠治（公明・南区）：思ったのは、夏どうなるのか

管理課長：熱中症対策 検討を進める

エアコン設備を設けると、史実と異なる

本丸御殿 冷風扇 熱中症対策

配管が不要 エアコンに変わるもの

福田誠治（公明・南区）：後付けならよい

それでよいのか？  
もっと想像力を活かして  
トップが無責任だから皆さん無責任ではいけない

江上博之（共産・中川区）：簡易エレベーターが提案あった

渡辺主幹：技術提案あった  
竹中が検討している

江上博之（共産・中川区）：簡易エレベーターは撤去可能  
いったん小天守に登って、橋台 でてこない  
むずかしいのでチェアリフト  
発展していかない ポンポンでてくるだけ

渡辺主幹：小天守経由 大天守に入っていく  
現状そういうようにルート  
1階 スロープつけて小天守  
橋台スロープつけて大天守に  
今後たどりつく 地下階1階 たどり着くようなルート検討

江上博之（共産・中川区）：一つ一つが順番に出てこない  
障害者 単に車椅子ではなく重い方 いろいろいる  
鯨の下まで48メートル 最上階まで38メートル  
13階 障害者に限らず、子どもだって、我々だって  
55度を登るのは大変  
チェアリフトで30分 そんなレベルの話ではない  
バリアフリーは必要 耐震の中で現天守でエレベーター  
7階まで上っていく  
障害者の人は7階までいける  
堂々巡り 賛成している人まで耐震化でどうか 説得力が無い

中川貴元（自民・東区）：進捗状況 天守閣工事が始まると  
5月7日から入場禁止 4年半見れないでよいですよ  
機運を高める、多くの市民のかた 見れなかったで終わっては行けない  
期待を持たせるものは

館主幹：来年 5/7 から天守閣入城制限に入ることになっている

映像等説明

あわせて、32年夏 オリンピックがはじまるころ

素屋根 建物の方つける

どういう風にできるか

通じて機運の醸成

中川貴元（自民・東区）：映像 5/7 からやれるの？場所は？

館主幹：5/7 とはいかないが、年度内にはやれるように

当初予算でご議論

めどとしては夏、秋 場内のどこかで

中川貴元（自民・東区）：予算を伴うもの

4年半ずっと映像コーナー なにか補っていく必要がある

館主幹：重要文化財 3つの隅櫓

できるだけ長く公開したい

年間を通じて楽しんでいただけるようイベント

中川貴元（自民・東区）：5/7 最初も肝心

スタートの時点 木造化していく さみしい

最初に期待感 なにか手を打つべきではないか

予算を構えなくてもいいこと

早い段階からやるべき

西野所長：委員ご指摘のとおり 閉館

来場者の方に天守は見れないが、ほかのもので満足して

予算を伴う者は主幹答弁

隅櫓 もう少し消防設備をいれないと常設展示できない

二の丸庭園 整備 整備の状況を説明しながら

ガイドを充実させて

天守がしまったあと、庭園をみて

中川貴元（自民・東区）：石垣なんかのツアー 出来る範囲はどうか

西野所長：ボランティアガイド 当然石垣説明  
修復している 広報なごやで呼びかけている  
より魅力など知っていただくよう工夫したい

中川貴元（自民・東区）：前に局長答弁 お堀の活用  
できたら早い内に活用を  
多くの方も喜ぶ  
具体的な話し、中身  
もう一回ご答弁を

渡辺局長：堀 船周遊  
ウェスティンから場内を北に向かって  
お殿様がやっていたようなように  
まだ研究が進んでいない  
堀に船を浮かべる、船着き場をつけるには文化庁の許可が必要

中川貴元（自民・東区）：とはいえ前向きに考えるでよいか

渡辺局長：そのとおり

中川貴元（自民・東区）：石垣部会に戻る  
前回の委員会 1月から入っていく予定  
石垣部会 今のままで行けば、このスケジュール通りでよい  
年内には結論をつける 年内でよいか

西野所長：年内に解決していききたいというのは変わっていない  
先週話し合いをした 年内には返事がいただけると思っている

中川貴元（自民・東区）：連絡が来るという理解か

西野所長：連絡が来ると考える

中川貴元（自民・東区）：結果はすぐに教えて欲しい  
もし、期待する返事でなかった場合、スケジュール、工程案はやっていけるという  
認識か

西野所長：もしということではありますが、今後検討

工程については大幅に石垣の調査が遅れるということなら苦しくなる

そのあとの処置 竹中と相談して検討

中川貴元（自民・東区）：1月のどの段階で決めるのか

1月から様々な調査

1月の何日から決めないと行けないか

西野所長：1月中に決めれば工程に影響がないと考える

それ以上なら竹中と相談

中川貴元（自民・東区）：測量調査、現況調査は1月のどれくらいから始めるか

西野所長：石垣部会を1月早々に開いて、具体的な発掘調査のご指導をいただいて

中川貴元（自民・東区）：存続できるという全体

電話連絡 1月早々に日程を決める

いつごろか

西野所長：すぐに日程調整

遅くとも1月中旬までに

中川貴元（自民・東区）：1月中旬までに開く 調査は1月下旬から入るのか

西野所長：石垣部会が開かれたらすぐにやる

福田誠治（公明・南区）：基礎はケーソンでしょう。別工程でできるのではないか

西野所長：現在ケーソン 石垣には荷重はかかっていない

立て直す場合、工事の過程でこういうやり方で石垣に影響を与えない

文化庁 特別史跡の整備 現存する石垣をどう整備するか計画してはじめて

木造復元が許可される

石垣の計画、木造の計画 一体としてやる

福田誠治（公明・南区）：重量かからなかったら、別の工程でできるのではないか

渡辺主幹：石垣の状況を把握していく  
影響を与えない範囲で工程をする

福田誠治（公明・南区）：石垣の状況を見てケーソンをするのか

渡辺主幹：ケーソンに加重をかけて  
石垣と天守は別というお話し  
石垣に影響を与えないように  
踏まえた上で木造復元を進める

福田誠治（公明・南区）：石垣がどうであろうと、別だと考える  
すぐに最短工程を組むように

江上博之（共産・中川区）：丁寧に現天守を作るに当たり市民の機運があった  
ここまでまとめたのははじめてではないか

渡辺主幹：当時の資料は残っているが、まとめたのははじめて

江上博之（共産・中川区）：市民のお知らせしてほしい  
産まれたときは4つ しらない  
それだけの機運 現在市民の機運があまりない  
竣工昭和34年10月1日 伊勢湾台風があった 自分の生活が精一杯  
市民の機運 そういう知らせを考えていくべき

加藤管理課長：展示の話し 来年1月1日-2月 企画展示  
名古屋城天守の経緯 木造天守閣  
現天守閣の歴史を親しみを

江上博之（共産・中川区）：木造復元については問題点も  
基本設計はどこまでできているか

渡辺主幹：基本構想ご提示させていただいた  
図面の作成、木造協議 進めている  
天守閣部会で提示した  
それ以外も仮設等も準備している

江上博之（共産・中川区）：今年度中か

渡辺主幹：今年度中に大方は完成している

江上博之（共産・中川区）：入場料調査 2000 万円 どこまで

館主幹：2月までに結果をまとめる予定

江上博之（共産・中川区）：予算までに公表可能か

館主幹：委員会公表までは考えていないが、3月までに公表

江上博之（共産・中川区）：2022年でやるのは問題がある

400年禍根を残すのはやめてほしい

価値をもっと知らせたい

手塚将之（減税・千種区）：市民機運

募金について 現行いくら集まっているか

館主幹：今年度だけで先週までに大体1億4500万円ほど

手塚将之（減税・千種区）：今年度は達成している 今後は

館主幹：今年度は1億円を目標 引き続き

7月～金シャチ募金

10月～金シャチパートナー 売上の一部を

ご理解いただきたい

手塚将之（減税・千種区）：目標は

来年5月7日 しまってしまうのはピンチでありチャンス

他にない